男子ソフトテニス部　新人戦　結果報告

★団体戦　２次リーグ４位（西三河ベスト 16）
★個人戦　１ペア県大会出場（西三河ベスト 32）

９月 11 日(土)12(日)に新人戦西三河予選の団体戦が実施されました。
新人戦では、今年度は西三河から 33 チーム出場し、そのうち 10 チームが県大会に進めます。この大会で県大会に出場することを目標に、夏の練習で努力をしてきました。

初戦は岡崎学園高校。以前は初戦の入り方が本当に下手な豊田高校でしたが、持永・岡本は１試合目の１ゲーム目をデュースで落としても動じずに、その後のゲームをすべて取って４－１で勝利。それに続く安藤・松村も相手の大将を４－２で抑えると、最終戦の細野・山田はストレートで勝ち、初戦から良いスタートとなりました。
２戦目は豊田大谷高校。１本目の安藤・松村の相手は、７月の大会で一度負けたことのある相手校の大将でした。次は勝ちますと言い切り、相手の思うようなテニスをさせず、４－１で勝ち切ってきました。それに続く渡橋・浦島もストレートで勝利し、最終戦の細野・山田も１－３ダウンから盛り返し、ファイナルで逆転勝利をしました。
１次リーグ最終戦は第２シード、県ベスト４の愛産大三河高校。どのペアも、各ゲームでポイントは取れるもののゲームを取らせてもらえず、ストレートで負けました。しかし、その試合を見るときの目は、ただすごいと思うだけだった以前とは違い、相手のプレーから何かを得ようと、なんとか食らいつこうとする目のように見えました。

無事１次リーグを通過し、２次リーグ１戦目は第 10 シードの松平高校。豊田市内大会で負けたリベンジマッチのつもりでしたが、１試合目の持永・岡本は競ったゲームがうまく取れずに１－４で負け。続く安藤・松村も相手の大将に２－４で惜敗。最終戦の細野・山田も２－４で惜敗し、リベンジならず。。。とても悔しい結果となりました。
２次リーグ最終戦は第７シードの岡崎高校。１本目の安藤・松村は完全に自分たちのペースでゲームを進め、ストレートで勝利。しかし２本目の渡橋・浦島は各ゲームオールからの２本が取れず、相手の大将に１－４負け。勝負を決する最終戦の細野・山田は１ゲーム目を取ったものの、その後相手のペースに飲まれ１－４で負けてしまいました。

目標としていた新人戦で団体戦県大会出場は達成できず、とても悔しい思いで終了しました。しかし、最後の引退試合となる総体まであと半年。このままで終わってしまえばただの悔しい経験ですが、今回の悔しさをバネに、総体まで再び努力を続けそこで勝つことができたなら、結果として今ここで負けたことには大きな価値が生まれます。これからの練習への取り組みに期待したいと思います。

＜１次リーグ＞２位通過
本校　③－０　岡崎学園　（④－１、④－２、④－０）
本校　③－０　豊田大谷　（④－１、④－０、④－３）
本校　０－③　愛産大三河（０－④、１－④、０－④）

＜２次リーグ＞２次リーグ４位
本校　０－③　松　平　（１－④、２－④、２－④）
本校　１－②　岡　崎　（④－０、１－④、１－④）　西三河ベスト１６

9月 19 日(日)23(木)に新人戦西三河予選の個人戦が実施されました。

個人戦は西三河から 276 組が出場し、そのうち 32 組が県大会に進めます。団体戦で県大会を逃してしまったので、せめて個人戦だけは！という思いで臨みました。

結果、ベスト 64 に 2 年生の安藤・松村組、細野・山田組、１年生の久保・今井組が残り、２日目に県大会決めの試合に挑みました。県大会決めは、それぞれ私立の強豪校や公立校の１番手などに当たりましたが、その中で安藤・松村組が粘りのテニスで勝ち切り、見事県大会出場を果たしました！

10 月 23 日(土)に新人戦個人戦の県大会が実施されました。

愛知県は 900 組くらいの出場者がありますが、その中で県大会に出られるのは 96 ペアです。一部のプレーヤーしか立てない舞台に立つ機会をつかみることができたので、その舞台を楽しむ気持ちを忘れずにと言って臨みました。

対戦相手は強豪私立の大同大大同。１ゲーム目に先にゲームポイントを取ったものの、そこからデュースに追いつかれ第１ゲームを落とすと、そのまま流れを持っていかれ、あっという間にゲームカウント０－３。。。切り替えた４ゲーム目に調子を取り戻したものの、結局ゲームが取らせてもらえず、ストレートで負けてしまいました。次に県大会を目指せるのは、引退試合となる４月の総体のみ。もう一度この舞台に出場し、次は１勝できるようにしたいと強く思った県大会でした。これをチームに持ち帰って、さらなるレベルアップにつなげていきます。これからも応援よろしくお願いいたします。